

みねまわり紀昌 M MINEMAWARI NEWS 市政だより

第16号

2010/4/28

発行所

札幌市議会民主党・市民連合

〒064-0826札幌市中央区北1条西2丁目

市役所17階

TEL 011-211-3212

FAX 011-218-5121

平成22年度予算



「高齢者・障がい者福祉」「子育て支援・教育」「環境・経済」施策に重点配分



平成22年度予算議会が3月30日に閉会し、新年度予算が可決されました。

予算編成にあたり上田市長は、「市民が主役のまちづくりを実践し、先人から受け継いだ財産を発展させ、次世代へ引き継いでいくことができるよう、全力で取り組むとともに、市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街の実現に向け市政運営を行っていく」と述べられました。

本年度予算の特徴としては、市税収入の減少や生活保護費をはじめとする扶助費の増加が見込まれる中で、多様化する市民ニーズに対し、今すべきことを明確に選択をし要望実現をめざし、限られた財源での編成としては評価できる内容となっています。また、「伸ばすべきものは伸ばし、変えるべきものは変える」という基本方針の下、事業の見直しなどを一層推進する中で、新たなニーズへの対応が

求められる「高齢者・障がい者福祉」「子育て支援・教育」「環境・経済」施策について緊急に取り組むことや、さらに、中長期的な視点に立ち、持続可能な魅力ある都市づくりを進めるため、新興市場諸国やアジアなどからの観光客誘致やアットツーリズムなど「シティプロモート」戦略にも着手することも重要なポイントとなっています。

今年度は日本APEC貿易担当大臣会合をはじめとして、瀋陽市との友好都市30周年や、ノビルス市との姉妹都市友好20周年に係る事業が開催されることにより、多くの外国の方々との交流の機会が生まれるほか、駅前通地下歩行空間や創成川公園が完成するなど都心部においては新たな賑わいが期待されます。

いずれにしても、財政豊かな時のような予算編成や市民サービスというものは、この先期待できず、国にも頼ることのない自力での経済・雇用の安定をはかる中で市政運営の体制というものを確立しなければならぬ重要な時期にあると思います。日々いただく市民の皆さんの声を市政に反映しながら、安心で安全なまちづくりをめざして、全力で頑張ります。

平成22年度予算で「創」りだすもの

☆ 間断のない経済・雇用対策の実施

● 景気対策緊急支援資金貸付の継続実施（融資枠 H21当初200億円⇒300億円）
厳しい経営環境にある中小企業者を支援する低利かつ長期の貸付制度を継続

● 雇用の創出 ～ 3事業合計で1,028人の雇用
緊急雇用創出推進事業、ふるさと雇用再生特別対策推進事業を引き続き実施するほか、新卒者を市の臨時職員として緊急的に採用することにより、雇用機会を継続確保

緊急雇用創出 859人
ふるさと再生 69人
市の臨時雇用 100人

● 地元中小企業の受注機会の確保
21年度補正予算と合わせて、既存ストックの維持・修繕などの小規模工事やバリアフリー、環境といった新たな分野での事業を拡大することで、前年度を上回る事業量を確保

普通建設事業	(億円)
H21	H22
当初予算 693	667
1定補正 11	59
合計 704	⇒ 726 (+31%)

● 道路維持・除雪業務の一体発注の試行
夏期の道路維持補修業務と冬期の除雪業務を併せて発注し、業務の着実な遂行と、受託事業者の安定的な経営の確立を目指す

うち学校の修繕・市有建築物
長寿命化・オーバレイ等
31 ⇒ 50

● 地元IT企業の受注機会を創出
地元IT企業の受注機会につながる、本市業務システムの「グラスボックス化」に着手

● 住宅の省エネやバリアフリーに係るリフォームに対する補助の創設

● クーポン券付きPR誌作成による商店街の活性化
消費喚起のための商店街の取り組みに対する支援を実施

☆ 福祉の充実、暮らしへの支援

● 保育所定員を大幅拡大（+820人）

● 乳幼児のヒブワクチン接種への助成を開始（政令市初）
生後2ヶ月から4歳までを対象に、接種料の1/2程度を助成

● 地域小規模養護施設の設置、ファミリーホーム事業の実施
地域での家庭的な養育環境を整備

● 特別養護老人ホームの定員増（3施設、+138人）

● 元気ショップ等の拡充
売り場面積を倍増し、市内全ての小規模作業所等の製品を陳列可能に

● パーソナルアシスタンス制度の本格実施
地域の力を活用し、重度身体障がい者の介助時間を拡大

● バリアフリーを強力に推進
地下鉄駅及びJR駅のエレベーター等整備、歩道の段差解消など

● 市税事務所を開設
10区の税務部を市内5か所に統合・集約

● 区役所窓口の利便性、快適性を向上
窓口の集約、待合・面談スペースの改善、案内サインの改善など

地下鉄全駅(全方面)に
エレベーター設置が完了
(23年度供用開始)
歩道のバリアフリー化を
ベースアップ
(約20年の整備期間
⇒約10年で完了を目指す)

☆ 「環境首都・札幌」としての大きな一歩

● 太陽光発電設備を小学校など57か所（約800kw）に設置
小中高37校（610kw）うち22年1定分29校（490kw）、札幌ドーム（90kw）、中央図書館（10kw）など45施設
このほか、私立保育所で12園程度（6kw）

水銀灯（生活道路照明用）
約12,000灯を4年間でLED化

● LED灯を積極的に導入
清田区役所ほか9施設（約1,000灯）、街路灯（うち80w水銀灯3,082灯）及び公園灯（約200灯）をLED化

● 新エネ・省エネ機器の導入費補助を拡大
太陽光パネルや省エネ給湯器などの導入補助を増額

市民向け新・省エネ機器導入補助
H21当初 5,000万円
⇒H22 9,500万円

● バイオマスエネルギーの普及と活用研究
木質ペレットの普及啓発と、未利用資源の活用可能性にかかわる調査を実施

● 無暖房住宅（パッシブハウス）の普及促進
超高断熱・高気密仕様の住宅の普及に向けた検討調査を実施

☆ シティプロモート始動～札幌市の魅力発信

● シティプロモート戦略の策定
将来に想定される人口減少への対応として、集客・定住人口の獲得と、経済の活性化をねらう戦略を新たに策定

● 4つの重点プロジェクト

東アジア+新興市場観光促進

・中国、韓国からの観光客誘致を強化
・新興市場であるインド、マレーシア、ロシアからの誘客促進

新たな札幌の魅力創出・発信

・「創造都市さっぽろ」発信のためのイベントを開催
・国際芸術展の実施に向けた調査

MICE 推進

・MICE（会合、報奨旅行、国際会議、展示会）について、国内外から積極的に誘致

札幌ライフブランド化

・札幌での生活スタイルを首都圏居住者にPR
・二地域居住促進のためのモデル事業の実施

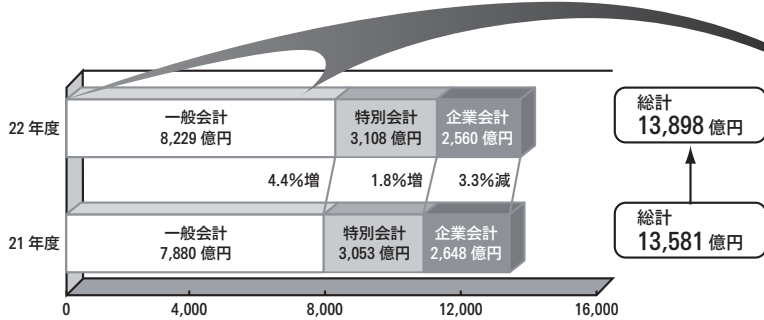
☆ 都心部がキャンパスに～ひろがる創造空間

● 創成川公園が完成（23年3月）
北2条～南4条間の各所に著名芸術家の作品を配し、うるおいと安らぎの空間を演出

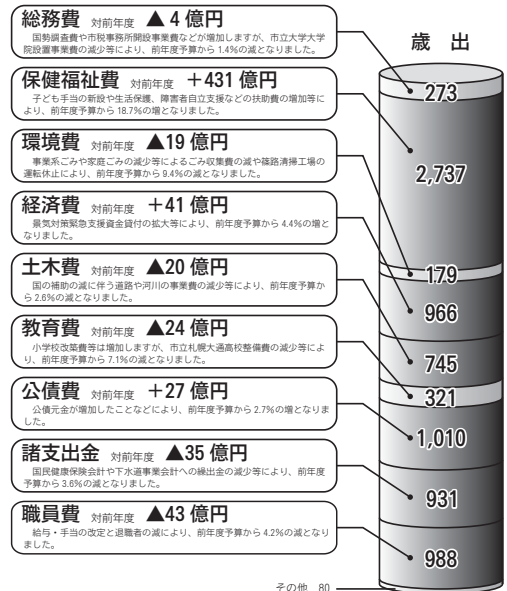
● 札幌駅前通地下歩行空間が開通（23年3月）
広場に設置する大型映像装置などを活用し、「創造都市さっぽろ」を発信

● 「500m美術館」の充実
地下鉄大通駅～バスセンター前駅間コンコースでの開催にあたり、スポットライト設置などの展示環境整備を実施

●平成22年度全会計予算



●一般会計歳出内訳 8,229億円



一般会計とは

教育、福祉、ごみ収集、道路の整備など、札幌市の基本的な事業に関する会計で、本市の会計の中心をなすものです。特別会計と企業会計に属さないすべての歳入歳出が一般会計に計上されます。

特別会計とは

特定の事業を行う場合に、特定の歳入を特定の歳出に充てるなど、一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。本市には、このような特別会計が12会計あります。

- 老人医療会計
- 国民健康保険会計
- 介護保険会計など

企業会計とは

企業的性格(独立採算性)による経営(独立採算性)を持った事業を運営する地方公営企業の会計です。本市には、このような企業会計が6会計あります。

- 高速電車事業(地下鉄)会計
- 下水道事業会計
- 水道事業会計など

◇子ども支援事業

- ①私立保育所の改築事業
東月寒にれ保育園
定員90人↓120人
- ②西岡高台保育園
定員90人↓120人

◇環境・リサイクル関係

- ①太陽光パネル発電
札幌ドーム(90kw)、羊丘中学校・平岸中学校、平岸西小学校(設計)
- ②古紙回収拠点設置事業
1ヶ所増設の予定(現在3ヶ所)
- ③市設街路灯整備(LED化等)
約320ヶ所予定(場所は区と調整中)

◇公園・道路関係事業

- ①公園整備事業
公園造成3ヶ所、個性あふれる公園整備1ヶ所、ユニバーサルデザインの公園づくり3ヶ所
- ②大規模公園計画調査1ヶ所(月寒公園) 2010年基本設計、2011年〜2014年実施設計、2012年〜2015年ブロック別に造成工事
- ③道路整備事業
歩道バリアフリー(南平岸地区)、生活道路整備33ヶ所(別紙)
- ④河川整備事業
流域貯留浸透事業一望月寒川流域(西岡小学校)

◇学校増改築及び耐震化工事

- ①増改築工事
平岸西小学校屋内運動場 延べ1,358㎡
- ②耐震化工事
月寒中学校
- ③耐震化設計
豊平小学校・南月寒小学校

◇地下鉄駅エレベーター整備

中の島駅真駒内方面側ホームにエレベーターを設置
2011年6月頃供用予定

◇公園・道路関係事業

- ①公園整備事業
公園造成3ヶ所、個性あふれる公園整備1ヶ所、ユニバーサルデザインの公園づくり3ヶ所
- ②大規模公園計画調査1ヶ所(月寒公園) 2010年基本設計、2011年〜2014年実施設計、2012年〜2015年ブロック別に造成工事
- ③道路整備事業
歩道バリアフリー(南平岸地区)、生活道路整備33ヶ所(別紙)
- ④河川整備事業
流域貯留浸透事業一望月寒川流域(西岡小学校)

◇公共施設耐震化改修

- ①区役所・保健所耐震改修
安全性向上のため、耐震補強を実施
工期 2009年7月〜2010年9月末
- ②若者活動センター耐震改修
耐震強度不足となっているセンターの耐震改修

◇平岸まちづくりセンター・平岸会館整備

老朽化した施設(S52年建築)の解体・改築設計
2010年11月頃移転・解体
2011年12月頃完成予定

2010年度

豊平区の主な事業

●市民一人当たりのサービスと負担 (平成22年1月1日現在人口1,905,777人)

《市民一人当たりのサービスコストの状況》

サービス	金額	構成比
福祉・保健・医療等	154,826円	35.9%
道路・公園の整備等	65,511円	15.2%
産業振興・観光・農務等	52,749円	12.2%
学校教育	30,676円	7.1%
総務・芸術文化・スポーツ等	29,626円	6.9%
ごみ処理・環境保全	15,530円	3.6%
消防	9,997円	2.3%
その他	23,968円	5.6%

総額 431,790円

《市民一人当たりの市税負担の状況》

市税	金額	構成比
固定資産税	56,943円	39.9%
個人市民税	47,196円	33.1%
法人市民税	11,928円	8.4%
都市計画税	12,241円	8.6%
たばこ税	6,849円	4.8%
事務所税	4,199円	2.9%
その他	3,211円	2.3%

総額 142,567円

※()内の数字は構成比です。
※各経費には、各分野に関連する事業費のほか、関連する職員費及び公債費を含む。